

Full Speed

月刊SEOレポート 2017年02月版

Monthly [SEO](#) Report

Vol.82

1月中旬に残念なニュースが届きました。

Googleサーチクオリティチームのトップであったマット・カツ氏が、12月末をもってGoogleを退職しました。2014年ころから休暇をしていたのですが、ついにこの時がきてしまいました。

マット・カツ氏はGoogleの初期メンバー100人の1人です。度々カンファレンスに登壇したりビデオメッセージを流したり、Googleのスポークスパーソンとして我々Web業界に多大な影響を与えてくれた有名人です。

特にブラックハットSEOに対する注意喚起や内部対策の重要性を説き、ホワイトハットSEOを根付かせた功績は大きいと思います。

私もマット・カツ氏の発表やコメント、アドバイスに多く助けられましたので、非常に感謝しています。

ただ、最近ではGoogleのジョン・ミューラー氏やゲイリー・イリエーシュ氏がマット・カツ氏の後を受け継ぎ多くの情報を発信しています。twitterで貴重な情報をサラッと書き込んでくれます。

日本でも、Googleウェブマスターオフィスアワーで社員の金谷さんと長山さんが質問に回答してくれます。

昔とは違い今では多くのGoogle社員がコミュニケーションをとってくれます。Googleを理解するうえで中の人発言で助かっている人も多いと思います。

近頃のWebサイトは様々な技術を活用していることで、クローラビリティ対策やサイトテーマを伝えるのに専門的な知識が必要なケースが増加しています。貴重な一次情報を活かして改善につなげましょう！

コンサルティング部
WEB/SEOコンサルタント 深井



04 検索エンジン最新トピック

10 全体的な順位変動の状況

12 Growth Seed VOICE

SEO Report

検索エンジン
最新トピック

Section 01

検索エンジン最新ニュース

検索マーケティングに関わるお役立ち情報をご紹介します。

Google

日付	タイトル	概要	詳細
01/10	インターステシャルの対応を予告とおり実施	モバイル検索結果からコンテンツに簡単にアクセスできないページは、これまでよりも順位が低くなるアルゴリズム更新を展開。	P06
		https://webmaster-japan.googleblog.com/2016/08/helping-users-easily-access-content-on.html	
01/17	Googlebotのクローリングバジェットを解説	Googlebotのクローリング バジェット（クローリングの割り当て）について、実状や意味を解説。	P07
		https://webmaster-japan.googleblog.com/2017/01/what-crawl-budget-means-for-googlebot.html	
01/23	マット・カツ氏がGoogleを退職	Googleのサーチクオリティチームでトップを担っていたマット・カツ氏が2016年末に正式退社していたことが判明。	-
	-		
01/23	検索結果画面に「他の人はこちらも検索」表示を追加	2016年10月に米国で先行実施されていた「他の人はこちらも検索」表示を日本でも開始。	P08
	-		
01/27	ユーザー生成スパムからサイトを守るには	スパマーが自分のサイトへのトラフィックを増やす目的で、他人が所有するサイトに不正なコンテンツやリンクを投稿する行為の対処法を紹介。	-
		https://webmaster-japan.googleblog.com/2017/01/protect-your-site-from-user-generated-spam.html	

Yahoo! JAPAN

日付	タイトル	概要	詳細
01/09	米Yahoo!が社名を変更	Verizonに売却せずに残る事業は、Yahoo!から「Altaba」に社名を変更することが米証券取引委員会に提出した資料で判明。	-
	-		
01/17	プリファード・パートナー・プログラムを開始	Yahoo!プロモーション広告の運用効率化支援制度「Preferred Partner Program」を開始。	-
		http://pr.yahoo.co.jp/release/2017/01/17a/	
01/23	渋谷区災害情報の発信を強化	渋谷区が発信する地震や台風接近などの緊急災害情報や避難所の開設状況などを、「Yahoo!防災速報」で提供を開始。	-
		http://pr.yahoo.co.jp/release/2017/01/23a/	

「 Google : インターステシャルの対応を予告とおり実施 」

今月のトピックス01

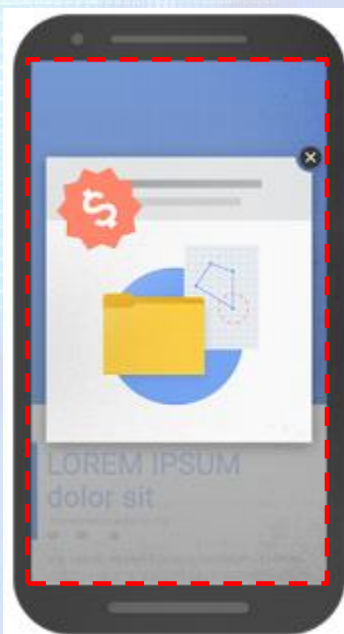
2016年8月24日に導入が予告されたインターステシャルの対応が、予定とおり1月10日に実施されました。

モバイルサイトのコンテンツに覆いかぶさり、閲覧を阻害するようなインターステシャルやポップアップ表示をするページの評価を下げるアルゴリズムの更新です。

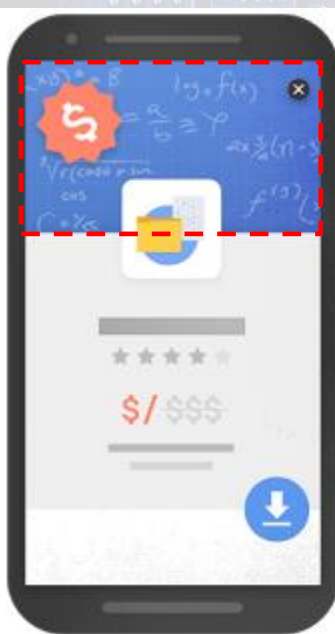
対象となるインターステシャル

- ① ページに移動した直後やページを閲覧している最中に、メインのコンテンツを覆い隠すようにポップアップを表示するタイプ
- ② インターステシャルを表示して、それを閉じないとメインのコンテンツにアクセスできないようにするタイプ
- ③ 小さい領域だが、実際にはコンテンツの上に表示されているタイプ

1



2



3



1月10日以降、順位が下落しているページも観測しています。

未対応のサイトは日々の順位推移を確認しつつ、状況に応じて対処することをお勧めします。

参照元 : 「 Google ウェブマスター向け公式ブログ 」

<https://googlewebmastercentral-ja.blogspot.jp/2016/08/helping-users-easily-access-content-on.html>

「 Google : Googlebotのクローラバジェットを解説 」

今月のトピックス02

Googlebotがサイトをクロールする際の、クローラバジェット（クローラの割り当て）について解説しています。

クローラの来訪頻度によって順位が上げ下げするとの誤認識もあることから、Googleが改めて解説をしてくれたのだと思います。

クローラ方法

利用ユーザーの体験を損なわないために、サイトへの負荷がかからない範囲でクロールします。こうした仕組みを「クローラレート（クローラ速度）」と呼び、同時にアクセスできる数やサイトの応答時間に合わせて、クローラの速度（頻度）を調整しています。

クローラ頻度

クローラレートが上限に達していない場合でも、新たにインデックスさせる必要がないサイト(更新されていないサイト)はクローラ頻度が下がります。

重要な要素

人気の高いサイト（言及されていませんがおそらく、アクセスが多いサイト、検索数が多いサイト、リンクが多いサイトなど）や更新頻度、リニューアルなどでサイト全体の構成が変わった場合などでクローラ頻度が変わります。

順位への影響

クローラレートがサイトの状態によって日々変わることから、サイトの評価と一致するわけではありません。クローラ頻度が低いからといって、順位が低くなるとは限りません。

影響を及ぼす要素

付加価値の低いURLがサイトに多数ある場合、そのサイトのクローラやインデックス登録に悪影響が及ぶ可能性があります。しかし、数千以下のページ数のサイトは、ほとんどの場合、クローラは効率的に行われるとのことです。

参照元：「 Google ウェブマスター向け公式ブログ 」
<https://webmaster-japan.googleblog.com/2017/01/what-crawl-budget-means-for-googlebot.html>

「 Google : 検索結果画面に『他の人はこちらも検索』表示を追加 」

今月のトピックス03

2016年10月14日に米国で先行実施されていた「他の人はこちらも検索」表示が日本でも実装されました。

モバイルの検索結果からサイトに移動し再び検索結果に戻ると、クリックしたサイトの下に「他の人はこちらも検索」が表示され、関連する検索キーワードのリンクが出現します。

thinkwith Google

your site is.

desktop devices

サイトへ移動

クリック

検索結果に戻る

関連キーワードが出現

※同一クエリでもサイトごとに表示されるキーワードは異なります
※全てのクエリで表示されるわけではありません

イベント情報

Webマーケティングに関わるイベントやセミナーなどお役立ち情報をご紹介します。



イーコマース

第10回 イーコマースEXPO 2017 東京

2017年2月14日（火）～ 15日（水） 10：00～17：30

東京ビッグサイト 西3・4ホール

<http://www.ecommerceexpo-japan.com/>



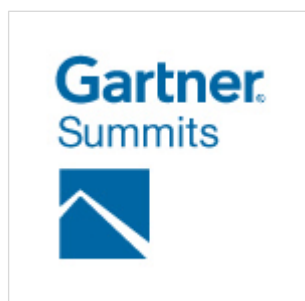
マーケティング

第1回 関西 Web&デジタル マーケティング EXPO

2017年2月15日（水）～ 17日（金） 10：00～18：00

インテックス大阪

<http://www.web-mo.jp/>



マーケティング

NEW

ガートナー カスタマー 360 サミット 2017

2017年2月21日（火）～ 22日（水） 9：30～17：30

東京コンファレンスセンター・有明

<http://gartner-em.jp/c360/>



マーケティング

NEW

ITpro EXPO 2017 Spring-Summer

2017年3月9日（木）～ 10日（金） 10：30～18：00

ザ・プリンスパークタワー東京

<http://expo.nikkeibp.co.jp/cloud/17/tky/>



デザイン

NEW

第31回リクリセミナー「Webデザイントレンド in 大阪 2017」

2017年3月25日（土） 14：30～19：00

大阪産業創造館

<https://recreators.doorkeeper.jp/events/55389>

SEO Report

全体的な
順位変動の状況

Section 02

順位変動状況サマリー

2017年1月の順位変動に関するサマリーコメント

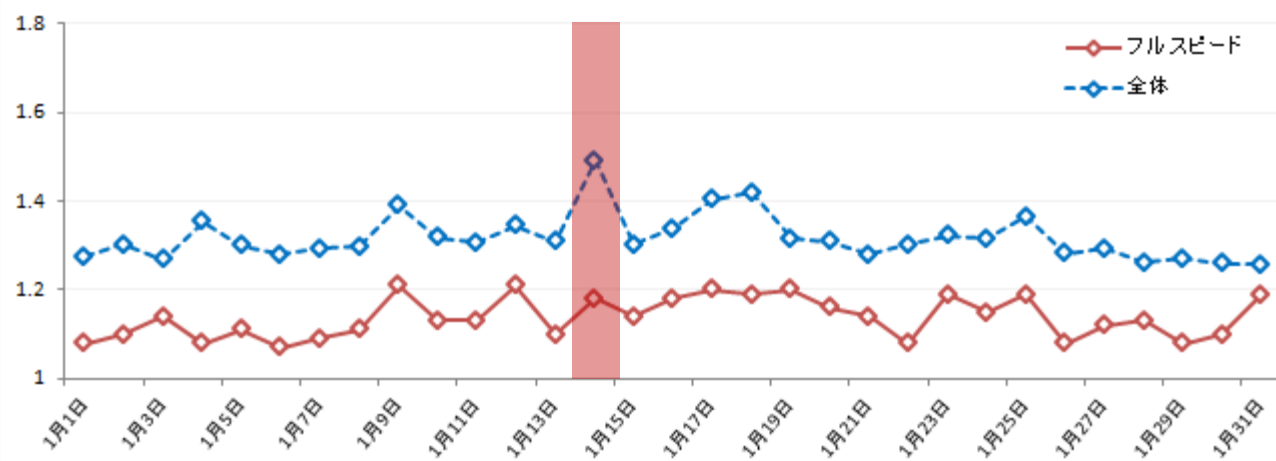
1月14日に中規模変動を観測しましたが、その他の日は安定していました。

1月は毎年大きな変動が起こる月です。

12月のホリデーシーズンに更新を控える傾向にあり、その分、蓄積された更新を1月初旬から中旬にかけて一気にを行うためです。しかし、今年に限っては大きな変更はなく安定しています。

パンダやペンギンなどがコアアルゴリズムに含まれたことから、手動による突発的な更新が少なくなったためと想定します。

Googleの順位変動率の推移 (2017/1/1~2017/1/31)



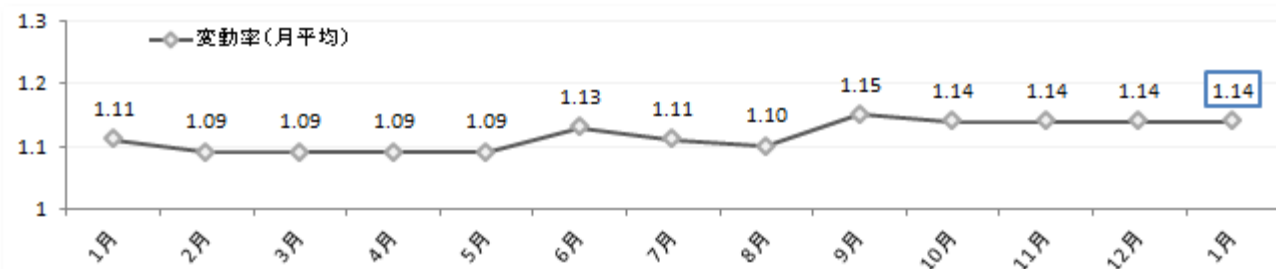
グラフの項目

全体

弊社で観測している様々なキーワードも含む市場全体の順位変動傾向

フルスピード

弊社で対策を実施しているキーワードの順位変動傾向



※変動率に使用したデータ:

上位表示される難易度に応じ、フルスピードが独自に選定しモニタリングしているビッグキーワード・ミドルキーワード・スモール/複合キーワードの数千キーワードのデータを使用、独自の計算に基づき算出しています。

Googleの公式発表ではありませんのでご注意ください。

SEO Report

Growth Seed VOICE
Section 03

2017年1月 キーワード ウィークリー ランキング

Yahoo! JAPANで検索されたキーワードの週間ランキングをご紹介します。

2017年1月9日～ 2017年1月15日	2017年1月16日～ 2017年1月22日	2017年1月23日～ 2017年1月29日
1 → YouTube	1 → YouTube	1 → YouTube
2 → Amazon	2 → Amazon	2 → Amazon
3 → 楽天	3 <small>new</small> 年賀状 当せん番号	3 ↗ Googleマップ
4 ↗ Googleマップ	4 → Googleマップ	4 ↗ 楽天
5 ↓ DMM	5 ↓ 楽天	5 ↗ Google
6 → Google	6 ↗ 小林麻央 ブログ	6 ↗ DMM
7 → 小林麻央 ブログ	7 ↓ DMM	7 ↓ 小林麻央 ブログ
8 ↗ 小林麻央	8 ↓ Google	8 ↗ Facebook
9 ↗ Facebook	9 <small>new</small> 狩野英孝	9 ↗ 郵便番号
10 ↓ 郵便番号	10 ↓ Facebook	10 ↗ ZOZOTOWN
11 → ZOZOTOWN	11 ↓ 郵便番号	11 ↗ 楽天市場
12 ↗ 楽天市場	12 ↗ JRA	12 ↗ Twitter
13 ↗ 価格.com	13 ↓ ZOZOTOWN	13 ↗ 小林麻央
14 ↗ FC2	14 ↓ 楽天市場	14 ↗ 価格.com
15 <small>new</small> 池田大	15 ↓ 小林麻央	15 ↗ FC2
16 <small>new</small> クックパッド	16 ↓ 価格.com	16 ↗ クックパッド
17 ↓ JRA	17 ↓ FC2	17 <small>new</small> ANA
18 ↗ Twitter	18 ↓ クックパッド	18 ↓ JRA
19 <small>new</small> 大学入試センター試験	19 ↓ Twitter	19 <small>new</small> 松方弘樹
20 ↓ UNIQLO	20 <small>new</small> 天気予報	20 <small>new</small> JAL

話題となった方の検索が一時的に急増していますが、定番キーワードはほぼ変わらない結果です。
2月初旬から中旬までは「バレンタイン」関連の検索が増えると思われます。

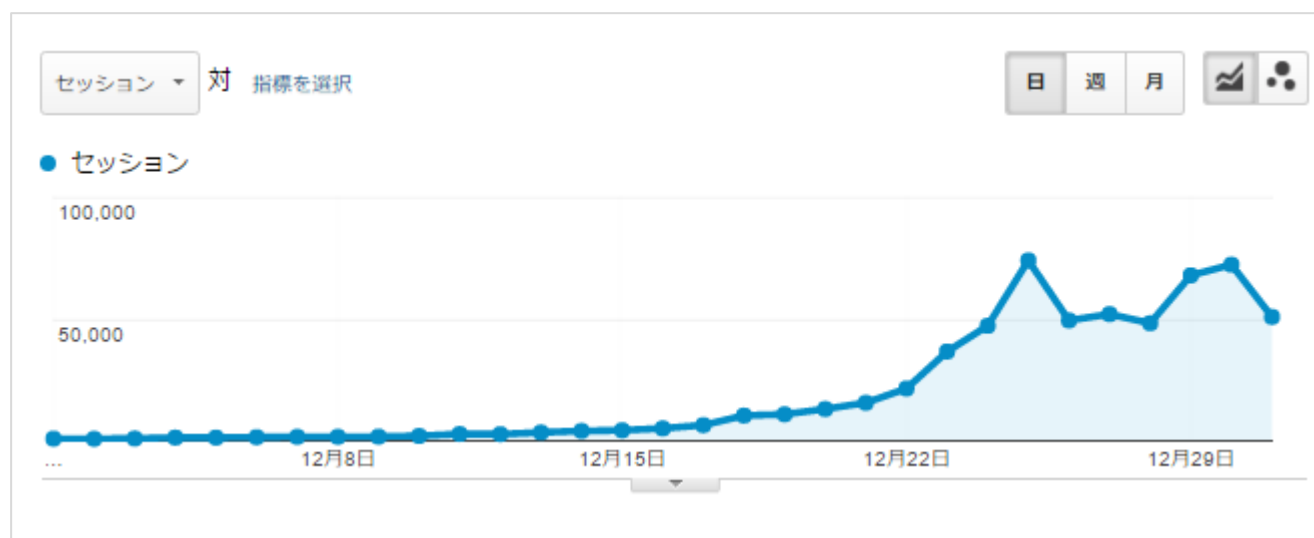
特集 _ コラムコンテンツの威力

1コラムで1カ月約61万セッションを獲得した例をご紹介します。

潜在層へのリーチに大きく貢献し、大量のCookieを獲得した例です。

驚く点は、拡散系のコンテンツではなく普通のコラムであることです。普通のコラムでも拡散されることでバズって月間1万セッションを稼ぐことはあっても、10万を超えることはそうそうありません。では、約61万を獲得した理由とは！？

サイト属性	年賀状販売サイト
コラムタイプ	一言メッセージの文例コンテンツ
オーガニックセッション数	614,555 (期間：2016年12月1日～31日) 520,892 (期間：2016年12月22日～31日)



年賀状の発行枚数は年々下落傾向にあります。年末の恒例行事として毎年作る固定ファンが多いジャンルです。ただ、ユーザー行動は二極化しており、「自分で作るユーザー」と「作成を依頼するユーザー」に分かれます。本コラムは、いずれかを対象にするのではなく年賀状を作るすべてのユーザーをターゲットにしました。リーチの最大化を目指したことが一つ目の成功要因です。

「多くのユーザーがとる行動とは何か？」
「多くのユーザーが困る、あるいは悩むことは何か？」
「短期間で集中して検索される事柄は何か？」

ユーザー行動と心理を細かく分解し、年賀状の最後の工程に焦点をあてました。カスタマージャーニーによる行動分析を丁寧に作りこんだことが二つ目の成功要因です。

三つ目の成功要因は、複数のキーワードで上位表示させたことです。成功の秘訣は、

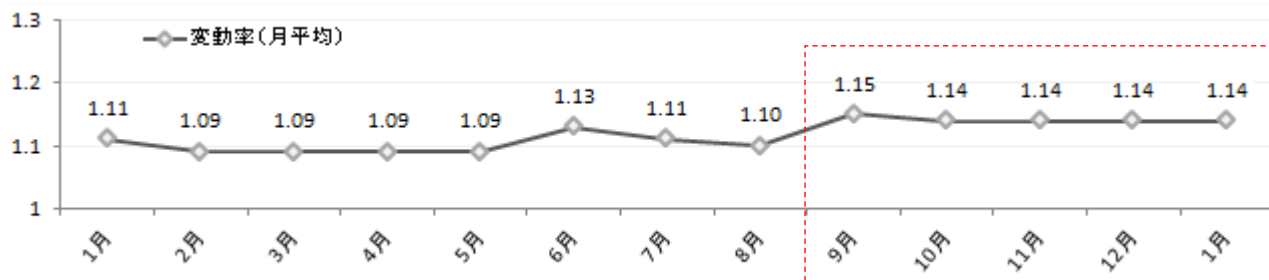
「ユーザーを知ること。知るために行動や心理を細かく分解すること。上位表示させること。」

特集 _ ペンギンアップデートの今！

約2年ぶりに更新されたペンギンアップデートの近況をお伝えします。

2016年9月のアップデートの際に、手動から自動のコアアルゴリズムに組み込まれました。自動になったことで日々の順位変動がどのように変わったのか？

以下は、毎月の変動率をグラフ化したものです。自動になった9月から変動率が高くなっており、日々の順位変動が激しくなったことが分かります。ペンギンアップデートが日常化しています。



みなさんのサイトのリンク品質は大丈夫ですか？

自動により、いつ警告が届くか分からなくなった為、定期的にチェックしなければなりません。

チェックフロー ①
サーチコンソールから
リンクをダウンロード

チェックフロー ②
高品質リンクと
低品質リンクに分解

チェックフロー ③
リンクの良し悪しを判断

「忙しくてチェックする時間がない。」「そもそもやり方が分からない。」
そんな方に・・・



自社サイトの不自然リンクの有無を確認するサービス

リンクチェックプラン

詳細は、担当営業へお問い合わせください。

セミナー告知 _ 3月1日開催決定！

【BtoB企業様向けセミナー】

デジタル導入で営業組織の顧客マネタイズを 2倍効率化させる方法

株式会社フルスピード & 株式会社フリーベル
共同無料セミナー

2017年3月1日（水）当社セミナールームにて開催決定

ユーザーと円滑なコミュニケーションをとるためには、見込み客が自社の製品・サービスを「どの程度分かっているのか」そのデータを蓄えることが重要です。

そこで、ユーザーがサイトに満足するよう改善点の洗い出し方法と、マーケティングオートメーションを活用したユーザー把握の事例を紹介します。

第1部：問題解決に役立つ！Google サーチコンソールの活用例（14：10～15：00）

スピーカー：株式会社フルスピード 武田 延之



セッション1 基本機能の紹介

セッション2 実践編「被リンクの確認方法と見分け方」

セッション3 実践編「インデックスステータスとクロールエラーの注意点」

セッション4 実践編「検索アナリティクスから見る検索結果の改善例」

第2部：マーケティングオートメーションの導入事例及び活用方法の紹介（15：00～16：00）

スピーカー：株式会社フリーベル 橋山 賢一



セッション1 マーケティングオートメーションの活用事例

セッション2 マーケティングオートメーションソフトの積極活用で得られるマーケティング施策の「全体最適」化

詳細は、「<http://www.fullspeed.co.jp/press/1627/>」でご確認ください。

月刊SEOレポート 2017年02月版

- Monthly SEO Report Vol.82 -

発行 2017年2月2日

発行者 コンサルティング部

発行所 株式会社フルスピード (<http://www.fullspeed.co.jp/>)

東京都渋谷区円山町3-6 E・スペースタワー8F

03-5457-7727

1. 当社が独自に調査した結果をまとめた2017年1月末の情報です。
2. 全体傾向をまとめたレポートとなりますので、お客様サイトの状況と合致していない内容も含まれていることをご理解ください。
3. 無断複製・無断配付・無断公開は禁止しております。



Full Speed

Ad Technology & Marketing Company

Full Speed

“ココロ ∞ テクノロジー”